



発行:日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人:田中 穂 編集人:金田 慎一
住所:〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ:https://jtuc-tottori.jp

中央大会



田中穂実行委員長(上中央)のかけ声で「サイレント・団結がんばろう!」を三唱

《メインスローガン》
一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし
みんなが輝く未来をつくらう!

第93回鳥取県メーデー大会 雨ニモマケズ 風ニモマケズ 1,160人が結集!!

東部地域大会



中部地域大会



4月29日(金・祝)、大雨と強風の中、県内3会場で「第93回鳥取県メーデー大会」を開催しました。初めて境港市での開催となった中央大会には400人、東部地域大会に300人、中部地域大会に460人の組合員や働く仲間が参加し、「一人も取り残されない、多様性を認め合う社会をめざす」ことなどを盛り込んだメーデー宣言を採択しました。

朝から降り始めた雨の中、境台公園では9時40分からのオープニングイベントに続き、山口一樹国民運動局長の開会宣言で式典をスタートしました。

主催者あいさつ(抜粋)

田中穂実行委員長

【ウクライナ危機】軍事侵攻を厳しく非難し、即時の作戦中止・撤廃と核兵器廃絶を強く求める。

【春闘】4月27日時点の集計では昨年を上回る平均月額4,353円となつている。県内全労働者に賃上げが波及するよう全力を尽くす。
【参議院選挙】今夏の参院選で組織内候補9人と、鳥取・鳥根選挙区に出馬予定の立憲民主党新人との相乗効果を生む選挙戦にしていく。

来賓あいさつ

行政や推薦議員、労働福祉事業団体より20人の来賓のみなさんに駆けつけていただき、代表して左記の4人に連帯のあいさつをいただきました。

- ・鳥取県 亀井一賀(かずよし)副知事
- ・鳥取労働局 山本浩司(こうじ)局長
- ・境港市 伊達憲太郎市長
- ・衆議院議員 湯原俊二さん

また、湯原衆議院議員より、参議院議員選挙に立候補する「村上たけしろう」さんを紹介し、村上さん

は組合員のみなさんに向けて元氣よく決意表明を行いました。

団結ガンバロー

スローガン採択、メーデー宣言採択と進め、最後に田中実行委員長の「サイレント・団結ガンバロー」で大会を締めくくりました。

オープニングイベント

社会福祉法人「まつぼっくり」による『天漁太鼓』を予定していましたが、悪天候により太鼓演奏はできず、演者のみなさんに登壇いただき事業所の紹介を行いました。コーラスの「りっぶる音楽団」のみなさんには、雨に負けない元氣の出る曲をご披露いただきました。

プラカードコンクール

公共交通の利用促進や労働組合の基本の取り組みを訴える力作3点の出品がありました。

お楽しみ大抽選会

西部地域協議会青女フォーラムが主体となつて行い、地元境港市に貢献するため、商店街などで使える利用券を準備し、多くの参加者に賞品が当たるよう工夫し実施しました。この頃には、傘が折れる、くらの暴風雨となりましたが、参加者は受付用のテントなどの中に避難しながら、最後まで参加しました。

ご協力ありがとうございました

- フードドライブ……米・缶詰やお菓子など408点が寄せられました。(中央138点・東部160点・中部110点)
- ウクライナ救援カンパ……ウクライナの難民・被災者の支援・救済に向けたカンパに取り組みました。

2022春季生活闘争【中間まとめ】発表

連合鳥取は、2022春季生活闘争の中間回答集計について、4月22日(金)、県政記者クラブ(鳥取県庁内)において報道機関に発表しました。

連合鳥取は、4月14日(木)の春闘闘争委員会において、正規労働者、有期・短時間・派遣等労働者、組織・未組織を問わず、すべての働く者の「底上げ」「底支え」「格差是正」をめざした取り組みを行うこと、また、経済の自律的成長の実現に向けて、労働組合が果たすべき社会的責任を十分に認識したうえで、「月例賃金の継続的な引き上げ」「人への投資」を徹底して追求することを確認しました。

今後も、構成組織一体となり中小組合の交渉をはじめ、県内すべての労働者の処遇改善を実現するための牽引役を果たしていきます。

連合鳥取2022春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 【2022.4.22現在集計】

※昨年同時期(2021.4.20)と比較

1. 賃金要求提出状況

登録組合数	2022春闘：76組合		2021春闘：75組合		◆提出せず	2022春闘	2021春闘	◆人勤準拠	2022春闘	2021春闘	◆組合員の賃金実態把握				
	2022春闘(2022.4.22)		2021春闘(2021.4.20)		体系維持分を 確認	組合数	5	6	組合数	4	3	把握している	60		
	【賃金関係】調査対象：109組合		【賃金関係】調査対象：111組合			組合員	392	1677	組合員	293	232	把握していない	6		
◆提出した	平均方式	個別方式	合計	平均方式	個別方式	合計	◆未提出	2022春闘	2021春闘	◆回答・妥結	2022春闘	2021春闘	◆ストライキ権		
	組合数	56	11	67	56	9	65	組合数	0	1	組合数	46	40	確立している	26
	組合員	7,701	1,910	9,611	8,578	1,434	10,012	組合員	0	359	組合員	7,275	6,784	確立していない	37

2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2022春闘(2022.4.22)						2021春闘(2021.4.20)						昨年対比			
	組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		額	率		
			体系維持分額	賃金改善分額	額	率	額	率	額	率	額	率	額	率		
加重平均	従業員	計	48	5,220	3,410	3,022	6,856	2.83	48	7,030	3,547	3,435	7,442	3.24	▲586	▲0.41
	300人以上		14	3,044	3,621	3,180	7,592	3.16	15	4,850	3,991	3,982	8,586	3.73	▲994	▲0.57
	299~100人		14	1,680	3,074	2,688	5,315	2.19	14	1,761	2,850	2,217	4,403	2.08	912	0.11
	99人以下		20	496	3,759	3,356	7,161	3.04	19	419	4,108	2,949	7,642	2.71	▲481	0.33

3. 回答妥結状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2022春闘(2022.4.22)				2021春闘(2021.4.20)				昨年対比			
	組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		額	率		
			額	率	額	率	額	率	額	率		
加重平均	従業員	計	30	3,085	4,335	2.06	25	4,089	4,076	1.72	259	0.34
	300人以上		10	1,910	4,923	2.37	9	2,984	4,792	1.96	131	0.41
	299~100人		8	931	2,983	1.22	9	1,020	2,008	1.02	975	0.20
	99人以下		12	244	3,895	1.85	7	85	3,724	1.66	171	0.19

【田中穂会長あいさつ要旨】

現時点で、ベースアップなどの賃上げを獲得した組合はあわせて30組合で、平均で月額4,335円となっている。去年の同時期と比べて259円高く、賃上げを獲得した組合は、去年の25組合から5組合増えている。

これは、電気や機械などの製造業で業績が好調で、人手不足への対策として、人への投資が活発化していることなどが要因と考えられるが、2014年からの賃上げの流れを維持して4千円台を回復したことは評価できる。

しかし、コロナ禍が続き、人流に頼る交通分野などでは雇用を守ることが重点課題となっている。あわせて、円高やウクライナ危機により、物価高が続き生活を圧迫している。

今後は交渉中か、これから要求書を出す6割の組合をしっかりフォローしていきたい。そして、非正規労働者への賃上げの機運につながるように、連合鳥取は旗振り役として全力を尽くしたい。



記者クラブで説明する田中会長(左)と江口事務局長

◆ 公務部門春闘カンパ ◆ 3月29日(火)

本年も公務員関係の労働組合(自治労・日教組・全水道・国公総連)より、民間中小地場労働組合の春闘勝利に向けたカンパ金(333,500円)を寄付いただきました。

活用方法については、執行委員会(闘争委員会)で検討します。



写真左より/田中 文鳥取支部委員長(全水道)、山口一樹執行委員長(自治労)、田中穂会長、井上匡央執行委員長(日教組/当時)、川井敬治議長(国公総連)

第26回参議院議員選挙 村上たいじろう候補者^{予定候補者}を推薦結成!!

連合鳥取は4月14日(木)開催の「第5回執行委員会」において、今年7月施行の「第26回参議院議員選挙/鳥取県・島根県選挙区選挙」に、「村上 たいじろう」さんの推薦を決定しました。

鳥取県・島根県選挙区では6年ぶりに推薦候補を擁立することになります。コロナ禍以降、多くの雇用が傷み失われている今、政治に求められるのは、場当たりの経済的支援や労働者の自立前提の規制改革ではなく、「働き方・働かされ方」の構造的な問題の解消です。そのためには政権交代可能な二大政党的体制のもとで緊張感ある政治が不可欠であり、それを実現するための選挙です。

33歳の若さと情熱で、私たちの付託に必ず応えてくれることを期待しています。



村上たいじろうさん(左)と田中会長

“選挙違反しない、させない” 運動の徹底を再確認

—「政治活動におけるコンプライアンス学習会」を開催—



連合推薦候補9人(比例区選挙)をホスターと等身大パネルでPR

連合鳥取は、4月23日(土)、ハワイアロハホールに120人の組合役員・組合員と19人の推薦議員とその秘書のみなさんが参加して、「政治活動におけるコンプライアンス学習会」を開催しました。(うち女性27人・女性参画率19.4%)

■開会あいさつ

田中穂会長(写真左上)のあいさつに続き、多忙の中駆けつけていただいた湯原俊二衆議院議員、連合鳥取推薦予定候補者の「村上たいじろう」さんが登壇し、出馬に向けた決意表明を行いました。



講師/五百蔵 洋一弁護士

■講演 「違反のない選挙をどう闘うか」

講師/五百蔵洋一法律事務所 五百蔵 洋一弁護士

連合政治センター委嘱弁護士の五百蔵弁護士を講師に迎えて講演を行い、選挙違反の事例と最新の状況、そして、これからの選挙運動には「SNS」の活用が欠かせないことなど具体的に説明され、参加者からの質問にもわかりやすく答えていただきました。

■第26回参議院選挙当面の対応について 江口真也事務局長

- | | | | |
|-----------|---------------|-----------------|------------|
| 今後の予定 | ① 推薦議員団会議 | 5月14日(土)13時30分～ | 白兔会館 |
| | ② 単組代表者会議 | 東部地協/5月13日(金) | とりぎん文化会館 |
| | ※3会場とも | 中部地協/5月18日(水) | 倉吉体育文化会館 |
| | 18時30分～ | 西部地協/5月19日(木) | 国際ファミリープラザ |
| ③ 労組選対の設置 | ④ コンプライアンスの徹底 | | |

■閉会・その他

田中穂会長発声の「団結がんばろう!」にあわせ、参加者全員がサイレントで拳を振り上げました。

また、緊急の取り組みとして「ウクライナの救援カンパ」を実施しました。お寄せいただいたカンパ金は、連合本部を通じて難民・被災者となったウクライナの人々のもとに届けます。



サイレント団結がんばろう!!

労働組合の役員として、選挙は毎年のように関わり、多くの組合員に対し、選挙ボランティアとしてお願いする場面があるため、今回のような学習会は非常に勉強になりました。

講義を受講したうえで、印象に残ったのは、公職選挙法が改正されなくても捜査対象がシフトしているとの内容でした。法改正のニュース等がなければ、「今まで大丈夫であったから、今回も多分大丈夫だろう」みたいな感覚であったため、組合員をはじめ関係者の方に迷惑をおかけすることになりかねませんでした。今まで、選挙活動に対し少し不安を覚えながら、活動を行っておりましたが、今回の学習会を通じて、怖いからといって敬遠するのではなく、正しく理解し、確認すれば、もっと多様性のある選挙活動につながると認識できました。改めて、私たちの労働や生活を改善していくために政治の力は必要であり、コンプライアンスを遵守した選挙活動を行っていくことが大切であると学習できました。

(寄稿 連合鳥取 広報・教育局担当執行委員 大川 達也さん)

参加者の声

紙パ連合・王子製紙新労働組合米子支部 吉岡 英貴さん



クリアでオープンな支援活動を進めるためには、コンプライアンスをしっかり学び、勝手な考えを持って行動してはならないということを理解した。支援する側も時代の変化に即応していく必要があり、世代に沿ったものを活用しながら皆の関心を引き、取り組みを進めていきたいと思う。

全国農団労・JA鳥取西部労組 尾形 愛美さん



五百蔵弁護士の講演は非常に興味深い内容だった。特に、私は20代(Z世代)ということもあり、パソコンやスマホを使って情報を得ている。そんなZ世代には、SNSを使用した情報発信や、デジタル選挙による投票が主となることが予想されるため、今後、労組活動の改革が必要だと考えた。



湯原俊二 —緑肥の想い—

参議院選挙に 「村上たいじろう」さんを擁立



岸田政権が発足して7か月がたちましたが、新しい資本主義といいながらこれから有識者で検討するという有様です。

私は、国政に復帰させていただいてから、衆議院本会議や委員会で質問をしてまいりました。一例を挙げますと、地方財政の健全性の問題、過疎問題、公立病院問題、国と地方の権限の問題、教員不足と多忙問題、学校図書館司書問題、消費者契約法、J・R問題、シティズンシップ教育(主権者教育)などです。

※インターネットで **衆議院TV** → **湯原俊二** を検索ください。
過去の発言風景がご覧になれます。

立憲民主党は、夏の参議院選挙鳥取県・鳥根県選挙区に「村上たいじろう」さんを擁立いたします。

33歳、行政経験があり、子育て世代です。

政治を変えようと一生懸命です。

何卒、ご理解の上結集していただきますようお願い申し上げます。

湯原さんのホームページもご覧ください



QRコードからもつながります▼



第93回鳥取県中央メーデー大会に村上たいじろうさんと参加

“ザ・議員”

伊藤 保 鳥取県議会議員

県議会には、超党派の議員で特定の分野について掘り下げて勉強する議員連盟(議連)が結成されていますが、コロナ禍で現地調査や意見交換会が思うように開けず、1年以上にわたり休眠状態でした。

第5波が落ち着きを見せた11月には、一斉に活動を再開しました。私が会長を務めている「鳥取県の畜産業の発展を考える会」を皮切りに、鳥取県森林林業林産業活性化議員連盟、鳥取岡山議員連盟、鳥取県の水産業の発展を考える会等、次々に現地調査や意見交換会を開催しましたが、年明けに開催を予定していたその他の議連は、第6波の拡大でまた延期のままです。

新型コロナウイルスの収束をただ願うばかりです。



整備が進む境港高度衛生管理型市場を現地調査する鳥取県の水産業の発展を考える会

蓑原 美百合 北栄町議会議員

昨年10月の北栄町議会議員選挙では、みなさまのご支援をいただき本当にありがとうございました。

「コロナ禍だからこそ、人との繋がりを大切にしたい。話し合い、支え合いができ、誰でもが暮らしやすい地域に」をアピールし、議員として様々な方々のご支援をいただきながら活動しています。

連合鳥取の目標『安心社会へ 新たなチャレンジ ~すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ~』とありますように、私も「必ずそばにいる存在」になれるように、みなさまの声を聴きながら、勇気と奮起を持って活動していきたいと思っています。

今後もみなさまのご支援、ご指導をよろしく願いいたします。



地域の子どもの通学見守りをしています

2019年5月、職場における「いじめ・嫌がらせ」を防止するための、いわゆる「パワハラ防止法」が成立し、2020年6月に施行されました。また、今年の4月には中小企業も対象となり、規則の整備などが義務付けられています。▼厚生労働省が発表しているデータによれば、総合労働相談コーナーに寄せられる件数は過去10年間で比較してみると2倍以上に増加傾向としています。▼相談窓口設置の啓発により件数が増加しているのか、それとも「いじめ・嫌がらせ」の実態が増加しているのか? 労働組合として、相談窓口の設置や規則の整備を会社に求めることも必要ですが、まずはハラスメント(嫌がらせ)を発生させない職場環境づくりに努めることも並行して行いたいと思います。

(鉄男)



てんてんてんてん



再生紙を使用しています